地域の課題を語り合う村政懇談会始まる

地区がかかえている問題を村と住民がいっしょになって考える村政懇談会が、今年度も藤駒地区を最初にスタートしました。

隣接の鶏舎による悪臭対策を
新潟市に行政指導を申し入れたい

【藤山・駒込地区＝32人】

◎藤山会館の増築

住民＝会館は連日会合等で満杯の状態で会場のやりくりが大変。ぜひ会館を増築したいので補助を。

村＝地区でまず増築について素案を立てていただきたい。今後村でも補助事業に該当するものがあるか検討していきたい。

◎防犯灯の設置

住民＝前郷農道に少なくとも五箇所防犯灯を設置してほしい。

村＝各地区の要望をまとめたうえで、一回で全ケ所設置できなくとも可能性の高い箇所から着手したい。

◎鶏舎の悪臭対策

住民＝藤山に隣接した鶏舎による悪臭によって、日常生活のなかでも困っている。対策を申し入れてほしい。

村＝鶏舎は、場所が新潟市で経営者は亀田町と複雑な内容になっている。また、畜産振興などの問題もあり難しい面もあると思うが、日常生活のなかでも深刻な問題であるので、新潟市に行政指導の申し入れをしていきたい。

このほか、村道舗装、排水改良、除雪、転作などが話題になりました。

（11月28日開催の小杉地区村政こん談会は一月号に掲載）

11月16日　藤山会館

藤駒むらづくり協議会
県優良農業経営等知事賞
北陸農政局長賞　表彰

藤駒むらづくり協議会（会長阿部兵一）がこのほど、昭和六十一年度新潟県優良農業経営等知事賞、さらに豊かな村づくり全国表彰で北陸農政局長賞を受賞しました。

同協議会は、藤駒地区が独自で将来のむらのあるべき姿を追求し、生産基盤や生活環境の整備を柱とした総合計画を樹立、それと時期を同じく、昭和五十五年に県のむらづくり事業の指定を受け、総合計画のなかにこれを加えた形の中で、豊かなむらづくり活動としてスタートしました。

これまでに、藤山会館、野菜集荷場（農協）、藤駒農村公園（村）、前郷農道整備（村）など地区の生産・生活の環境整備を積極的に図るとともに、集団転作を中心とした複合経営の推進、竹林を利用した老人クラブの竹芸加工のほか、文化活動、藤駒だよりの発行など、むらに住む全員が参加して、様々な活動が続けられてきており、こうしたことが高く評価されたものです。

このむらづくり事業は、初代会長田村忠雄氏から岩田大氏、そして現在阿部兵一氏と受け継がれ、県の指定期間の四ケ年を終えてもなおその活動はりっぱに継続され、藤駒地区の発展に大きな成果を挙げています。

会長の阿部さんは、今までのむらづくり活動によって、藤山・駒込それぞれの集落単位の意識が無くなってきていると思う。

今後の農業経営は重大な問題が数多く中でも、農業後継者の問題は深刻であり、これからも藤駒いっしょになって取り組んでいきたいと話していました。

花いっぱい運動で、公園や運動広場に花の苗を植込むみなさん

作業停電

12月16日(火)
午前九時～十二時
横越下
小杉上　一部

「なんでも相談」のご利用を
12月20日(土)
AM9:00～PM4:00
役場村長室

製造事業所の皆さんへ
工業統計調査・石油等消費構造統計調査にご協力ください

通商産業省では、昭和六十一年の「工業統計調査」と「石油等消費構造統計調査」を十二月三十一日現在で行います。調査の対象となる製造業を営む事業所には、年末から一月にかけて調査員が伺います。調査票に記入された内容は、統計以外の目的に使用されることは決してありませんので、安心してご協力くださるようお願いします。

統計功労者

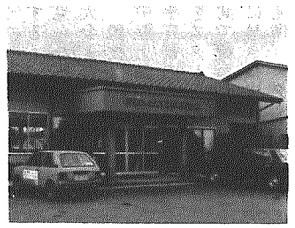
阿部木材工業㈱が労働大臣表彰

昭和六十年度統計功労者表彰で、阿部木材工業㈱が十一月七日、県庁で労働大臣表彰を受彰されました。

阿部木材工業㈱は、労働省が毎年実施している毎月勤労統計調査事業所に、昨年四月より指定され調査報告を行ってきたもので、県下常用労働者三十人以上を雇用する四百二十四事業所が対象となっている中でも、その調査報告が迅速かつ正確のうえ協力的であったことから、ほかの事業所より調査期間が短かいにもかかわらず、今回の表彰となったものです。

なお、このほかにも、国や県の各種統計調査の協力も頂いています。

この毎月勤労統計調査は、雇用、給与、労働時間について、全国及び都道府県別の変動が毎月明らかにされ、雇用・賃金・労働経済政策などの基礎資料とされる重要な統計調査です。



阿部木材工業㈱事業所

赤い羽根共同募金ご協力に感謝します

◎昭和61年度赤い羽根共同募金結果

	目標額	実績額	内容
	円	円	
戸別(封筒)募金	1,202,000	1,289,355	2,041世帯（山崎バンも含む）
法人(企業)募金	428,000	387,000	68企業
学校募金	30,000	38,459	小学校　31,558円 中学校　6,901円
無人箱募金	3,000	6,859	農協各支所　Aコープ 北方文化博物館
職場募金	15,000	13,620	役場　保育園 公民館　農協
合計	1,678,000	1,735,293	

○超過額　57,293円　　○達成率　103.4%

十月一日から実施しました四十回目の国民たすけあい募金運動にご協力頂きましたが結果については右表のとおりです。

このように、目標額を達成することができましたのでここに報告すると同時に厚くお礼申し上げます。

なおこの募金は、昭和六十二年度に村社会福祉協議会に配分され各種事業に使われます。

○実績額　1,735,293円

○県内の福祉に使われる額　378,000円

○村社会福祉協議会に配分される額　1,357,293円

随筆
学ぶ場所が広くなった

日曜日の夜、「クイズ面白ゼミナール」の幕開きで、鈴木健二さんが「知るは楽しみなりと申しまして、知識をたくさん持つ事は人生を楽しくしてくれるものであります」と語ります。たしかに、知らなかった事を学び、新しい知識を得た時は、大きな喜びを感じる。子供の時、新しい漢字や九九を覚え、学校へ通う楽しみを感じた筈だ。しかし、当時は、暗記を強いられ、試験の苦しさが先立ち、決して学校は好きだった訳ではなかった。勉強とは、辛いものであり、早く休みがこないかなあ、試験なんかなければ良いと思うのは今の子供達だけでなく、われわれオトナも同じであった。

強をしようと思えば、条件は完全に近い程整っている。しかし、それだけに苦労して学ぶ事を忘れかけている様だ。それは受験勉強のあるなしにかゝわりない事だ。それでも、と云うより、だからこそ「学ぶ」喜びは大きいと思う。あるマンガ週刊誌が四百万部を突破し、「カタイ」と云われる本がサッパリ売れないと嘆いている様だが、今のオトナ達が子供の頃、テレビの様な映像、カセットや携帯ラジオの様な電波は存在しなかった。「学ぶ」とは、むずかしい活字がつまった本を読む事であったが、今の子供達にとって、世界の狭さを暴露しているのかもしれない。

いつの時代でも、子供は大人の鏡である。第二次大戦のさなか、食べ物もなく、読みたい本もなく、生きる為に精一杯の時代であったから、「だから英語が出来ない。」とひがんだり、いばったりするお父さんもいる。たしかに、その当時の子供の責任ではない。子供達は大人の失敗や無分別の犠牲者であった。同じ様に、今の大人達は子供の事を本当に考えないで、やたらに先生や学校、教育制度を批判せず、又、子供を責める前に自分達が何をしてやっているか、考え直し、子供達が生き生きと楽しくユトリある学校にしてやる努力が必要だと思う。

（山崎）

学ぶ方法は大きく広がり、活字と並んで映像と電波があり、この三つを時により、場所によって使い分けながら学ぶ事が出来る様になった。これにくらべオトナ達の学ぶ方法は今でも、あまりに活字に傾きすぎ、活字を読まない事だけで子供を責めるのは、自分の

ごみ収集
し尿汲取り
年末年始の休業について

十二月三十一日午後から一月四日までごみ収集を休ませていただきます。

休業にともない十二月三十日、三十一日は左記とおり特別収集いたします。冬期間は、収集場所が乱雑になりがちです。搬出日、拠出時間、分別等を正しく守り、整理整頓に努めましょう。

し尿汲取りは、十二月三十日午後から一月四日まで休業いたします。し尿汲取りも降雪時は計画通り進まず、苦情をいただくことが多くなりますが、一日の処理量に限界がありますので、申し込みが集中することのないよう、各家庭で早目に対応するようにお願いいたします。

ごみ収集、し尿汲取りとも一月五日より平常通り業務を開始いたします。

年末のごみ収集

12月30日(火)	沢海 木津 二本 小木 藤山 駒込
12月31日(水)	横越 川根谷内 焼山 〜〜〜〜 午後より休業